

一緒に盛り上げよう



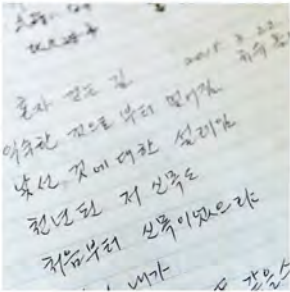
貴明寺 住職 土岐 弘親 さん

白岩トリムから脇道に入り、オルレを象徴するような趣ある小道をくだったところにたたずむ禅寺。19代武雄領主・後藤貴明が建立。オルレの立寄点で、笑顔いっぱいの住職に元気をもらえる場所。

お堂では座禅や写経の体験もできる

参拝ノートに並ぶありがたいメッセージ

一番人気のほほえみ地藏が笑顔で見送ってくれる



まあ、どうぞお茶でも。

オルレで再確認したお寺のあり方。

Q お寺ではどんなおもてなしが？

A 特別おもてなしというほどでもないんですが、来た人がいつでもゆつくりできるようなお茶や飴玉を用意しています。時間あれば写経体験や座禅体験もできます。お寺というものは人が出たり入ったりする場所。お茶をどうぞ、どこから来られましたかと挨拶するのは普通のことですね。

Q どういう方がいらついていますか？

A 韓国の方も多いですよ。小休止したり庭の写真を撮られたり、熱心に参拝されている方や、参拝ノートにメッセージを残してくださる方も多くて、とても嬉しいです。

Q 来た方はどこに喜ばれますか？

A なんてことない小さなお寺だけど、四季折々の空気を感じて、のんびりしてもらってますね。庭があつて、静けさがあつて。非日常のような空間で心を落ち着かせて、また日常に戻る。ここでリフレッシュしてもらえるといいなと思います。

Q オルレに携わってよかったことは？

A 人に来てもらえることで再発見することがたくさんあります。あ、こういうところに喜ばれるのか、もつときれいにしとかなないと、と学ぶことも本場に多いんです。

昔は町の真ん中にお寺があつて、お年寄りから子どもまで出入りしていたんです。寺離れだとか墓じまいだとかでお寺の在り方を考えていたときに、寺のよさを生かした人とのつながりをもつきっかけをもらいました。

今では朝に座禅をしてもらう朝活や寺子屋塾なども開き、市民の方にも参加してもらっています。熊本からわざわざ座禅をしにいらした人もいたり、オルレ効果ですごく感じていて本当にありがたいです。

Q 市民の方へのメッセージを

A まあ、いつでも立ち寄ってください。時間があつたらお堂にあがつて、5分でも10分でもゆつくりしてみると、心が落ち着きますよ。お茶と飴玉くらいなら用意していますので。